

平成29年2月発行 通巻133号

防災設備

FEBRUARY 2017



日本防災設備協同組合

URL <http://nichibou.main.jp/>

平成29年新年賀詞交歓会

*****日本防災設備協同組合*****

日本防災設備協同組合の平成29年新年賀詞交歓会は、1月19日、文京区湯島「ホテル東京ガーデンパレス」において98名が参加し、盛大に開催された。中島専務理事の開会の辞に続き、廣江理事長が年頭の挨拶を述べた。

多数のご来賓の中から、代表者に祝辞を戴き、日本防排煙工業会蛭間専門技術委員会委員長の音頭で祝宴に入り、歓談のひと時が持たれた。中締めとして古木副理事長の謝辞で盛会のうちに散会した。

理事長の挨拶



理事長 廣江 隆一



新年あけましておめでとうございます。
廣江でございます。

新年の挨拶を述べさせていただきます。

さて、去年は大きな災害の多い年でありました。特に、11月の新潟糸魚川の火災は記憶に新しいところでございます。被害に遭われた方々には心からお見舞い申し上げます。

私は防排煙を中心に行っている業者でございます。その点から災害を見てみますと例えば、ビルの中に入っていて地震が起きたりしますとエレベーターは階の途中で止まったりいたします。それで避難してくださいという形になるのですけれども、あまり皆様に話されてはいたないと思っておりますが昇降機安全センターに話を聞きますと、エスカレーターも地震の時には止まってしまうそうです。エスカレー

ターで通行する際、関東では右側を通行いたしますが関西では逆の側を通行するようです。通勤ラッシュ時にエスカレーターに乗る場合、ベルトに手を当てていなければなりません。エスカレーターが急に止まる事態があります。その際、将棋倒しになって大きな災害を引き起こすという事が皆様方に周知されていないのではないかと考えております。

防災をやっておりまして私はエスカレーターに乗る時は真ん中に乗ろうかと思っております。

まあ、それはさておき災害に関しまして今年一年何もないことを祈っておりますが、糸魚川の場合いろいろな条件がありまして、風の関係や防火区画、道と道との間隔がもっとあればあのような大きな災害にならずに済んだのではないかと、いろいろな条件が重なってこのような大火になったのではないかと考えております。そのことについて「防火区画」という観点からいろいろとご説明をしていきたいと思っております。

私は、今年を「明るい年」にしていきたいと思っております。何卒宜しく申し上げます。この一年、皆様が災害のない、平和な年になりますようにお祈りしたいと思います。

ありがとうございました。

CONTENTS

平成29年新年賀詞交歓会	2
祝辞	3
新年賀詞交歓会スナップ	6
平成29年度東京消防出初式	7
教育事業	8
工場見学会	9
福利厚生事業（屋形船・ボウリング大会）	10
裁判は人間くさい	11
組合員募集中	14

表紙写真／「東京出初式」
於：東京ビックサイト
撮影者／村田英樹（一電機株式会社）
発行／日本防災設備協同組合
編集人／「防災設備」編集委員会
東京都文京区本郷1丁目15番6号
TEL. 03-3813-9650（代）
FAX. 03-3813-9460
E-mail（事務）nichiboukyou1@io.ocn.ne.jp
（営業）nichiboukyou2@dune.ocn.ne.jp

祝 辞



東京消防庁本郷消防署
予防課長 土屋 智之

只今ご紹介頂きました本郷消防署予防課長の土屋と申します。

改めまして、明けましておめでとうございます。

併せまして、平成29年日本防災設備協同組合新年賀詞交歓会にお招きいただきありがとうございます。

さて、昨年の東京消防庁管内の災害状況を振り返りますと、火災件数は3,980件、焼損床面積17,581㎡、火災によって亡くなられた方の数は84人と、前年に比べいずれも減少しております。

一方、救急に関しては、出場件数777,427件、搬送人員691,308といずれも過去最多を記録しております。

また日本国内を見てみますと、4月には熊本地震、8月以降の台風による水害、12月には新潟県糸魚川市で焼損床面積約4万㎡、144棟が焼失する火災が発生しております。

東京消防庁と致しましても、エアハイパーレスキューや救急機動部隊の創設、救急隊の増強のほか次の日曜日の1月22日は、地域住

民の皆様が気軽に初期消火訓練などの防火防災訓練を実施できる訓練専用車両「まちかど防災訓練車」を新規に2台製造し、近隣の小石川消防署と世田谷消防署に試行的に配置するなど、災害対策に全力で取り組んでいるところでございます。

引き続き、2020年東京オリンピック・パラリンピックへの対応をはじめ、都民の皆様、東京を訪れる全ての皆様が安全・安心を享受できるよう、消防・防災業界の皆様とともにセーフシティの実現に向け、東京消防庁職員一丸となって取り組んでまいりますので宜しくお願い致します。

最後になりますが、本日ご参会の皆様のご多幸とご健勝、そして消防・防災業界と日本防災設備協同組合の今後益々のご発展を祈願いたしまして挨拶とさせていただきます。

ありがとうございました。



祝 辞



一般社団法人全国消防機器協会
会長 北爪 敬治

新年あけましておめでとう御座います。

日本防災設備協同組合の新年賀詞交歓会にお招きいただきありがとうございます御座います。

一般社団法人全国消防協会常務理事をしております鈴木でございます。

北爪会長からの新年のご挨拶を預かってまいりましたので、ご披露させていただきます。

新年のご挨拶

平成29年の新春を迎え、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

日本防災設備協同組合の皆様には、平素より当機器協会の業務運営に格別のご高配を賜り厚くお礼を申し上げます。

新しい年を迎え、当機器協会会員一同、心を新たにして、信頼される消防機器等の開発・改良と普及に取り組み、社会の安心・安全に寄与することともに、適切な維持・管理の推進に努めてまいります。

昨年には、正会員として一般社団法人インターホン工業会が加わり、現在15体となっております。

さて、昨今、全世界的に政治・経済体制が、大きく変わろうとしており、我が国への影響も懸念されるところです。

さらには、消防機器業界への影響も考えられるところではありますが、引き続き消防機器の開発、改良やその適正な設置・維持管理を通じ、安全を確保し安心の提供に努めて行くことが今までに増して重要であると考えています。

特に・既に建物等に設置されている消防用設備等は、信頼性が高く確かな技術による点検・整備を行うことにより、適正な性能機能が維持できるとともに火災等の災害による被害を最小限にすることができるとのことであり、我々消防機器業界といたしましても、関係の皆様ご理解と協力を得ながら、的確に対処して行くことが重要と考えています。

さらには、従前にも増して複雑多様化する災害に対応すべく、その役割の遂行に努め、社会に貢献して行くことが責務と認識しております。

本年も私ども消防機器業界に対しまして、引き続きご高配を賜りますようお願い申し上げます。

結びになりますが、日本防災設備協同組合の皆様、本日、ご列席の皆様のご健勝とご活躍、また関係団体・企業の益々のご発展を祈念いたしますとともに、本年がより良い年となりますように祈念いたしまして、年頭の挨拶とさせていただきます。



(代読)

一般社団法人全国消防機器協会

常務理事 鈴木 和男 様

祝 辞



能美防災株式会社
代表取締役会長 橋爪 毅

皆様、あらためまして、明けましておめでとうございます。お招きを頂きまして誠にありがとうございました。毎年お招きいただきまして、この新年会にでるのが楽しみでございまして、先ほども皆様と少しずつお話をさせていただきました。皆様方は大変はりきっておりまして、日本防災設備協同組合さんは「逞しいぞ、勇ましいぞ」こう思った次第でございます。

冒頭に広江理事長が「明るい年にしたい、平和な年であって欲しい」というお話でした。同感でございます。

平成という時代に入って29年目でございます。早いものでございます。平成という年号が安岡正篤様という方がいろいろ考えて、国民の幸せを願って描いた年号が平成なのですね。昭和という時代は動乱があり、戦争があり、復興があり、次の時代は国民が平和のうちに暮らせる。いわゆる平和にしてなるということで平成という年号を付けてくれたのです。

ところが振り返りますと戦争は毎日のように報道されておりますし、テロもありますし、自然災害も次々に襲ってきている。なかなか安岡正篤さんの意にそぐわず大変な時代だなと思っております。

近頃TPPで大分揺すぶられました。昨年、一昨年とTPPに若し日本が加盟すればどうなるだろう。政治の世界も経済界も産業界も大いなる悩みを与えられました。我々防災業界、メーカー、施工、メンテ、それぞれどのようなものになるのかと一生懸命勉強したこ

ことがありました。そんな中、ほぼ落ちついたかな、まとまったかなと思っていましたら、アメリカにトランプさんという方が出てきてTPPの先行きが見通せない状態になってきました。

世の中うまくできたものでTPPがそんな状態になりましたが・・・気がついたでしょうかPPAPというのが出てきました。奇妙なという怒られてしまいますがユニークな方がこの3月、武道館で単独ライブをやることになりました。その位までになってきております。S・M・A・Pスマップですね。これはまた話題を投げかけまして、解散いたしました。衆議院より先に解散してしまいました。いろいろな意味で世の中は動いておりますが、今の社会が必要なものは、社会の安全でございます。社会の安全、国家の安寧でございます。国家の安全も、平和ボケしている日本でも最近は大切だなと思うようになってきました。是非皆さんと一緒に社会の安全の為に尽力、そして貢献できれば幸いですと思っております。

御活躍をご期待いたしまして、皆様のご多幸を、各会社様の限りない発展を祈念申し上げまして、私からのご挨拶にとさせていただきます。

本日はおめでとうございます。ありがとうございました。



新年賀詞交歓会スナップ



乾杯

日本防排煙工業会 蛭間 専門技術委員会委員長



司会

中島 専務理事



平成29年

東京消防出初式

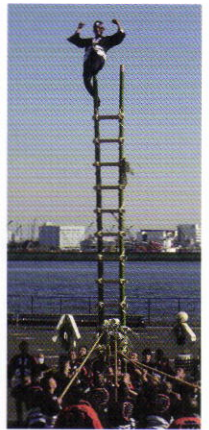
平成29年1月6日

於：東京ビッグサイト

防災で守る地域とみんなの笑顔

東京消防出初式は、

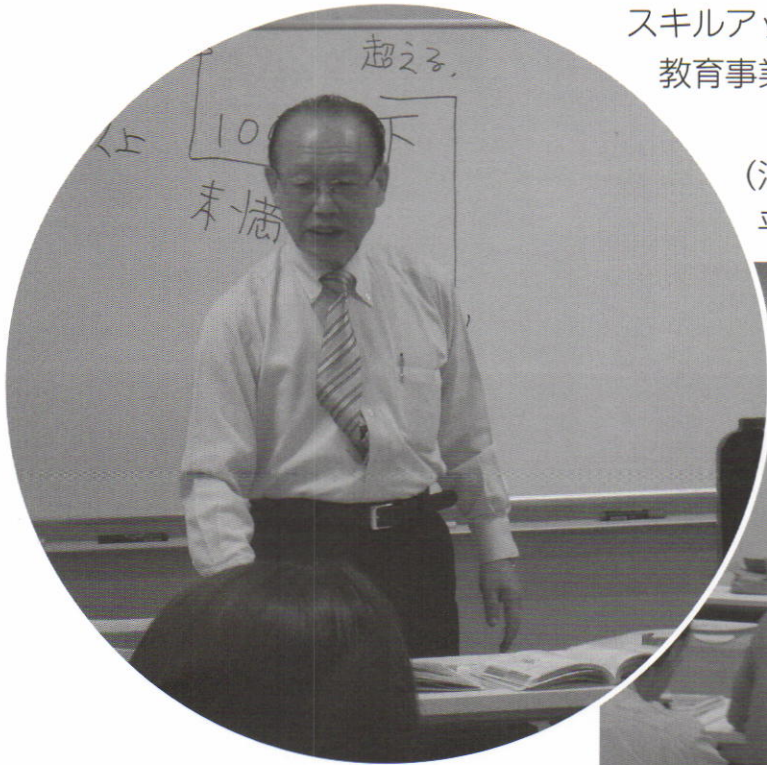
- 1 音楽隊、カラーガールズ隊の演奏・演技
- 2 自衛消防隊や災害時支援ボランティアなどの方々も参加する
消火・救助・救急演技
- 3 消防車両・ヘリコプター等の分裂行進
- 4 江戸消防記念会による伝統の木遣り行進・はしご乗り演技
などを披露する新春恒例の防火・防災行事です。



))))) 教 育 事 業 (((((((((

当組合では、防災関連事業従事者養成、スキルアップのために関係各位のご協力を得て教育事業を実施している。

消防法関連の消防設備士第6類乙(消火器)の受験準備講習会について、平成28年10月7日に行った。



建築基準法関連の防排煙設備について、当組合防排煙設備検討委員会発行の「防排煙設備実務要領Ⅰ」「防排煙設備実務要領Ⅱ」をテキストとして実務講習会を平成29年2月8日に実施した。



工場見学会

当組合の教育事業の一環として、青年部主催で防災関連事業所の工場見学会を行っている。

今年度は、平成28年11月11日～12日、株式会社初田製作所のご厚意により、同社本社工場と実消館の見学会を実施した。

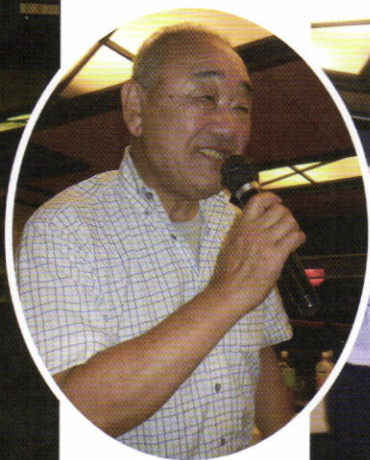
消火器の生産ライン見学、消火器リサイクル室見学、通常の消火器での消火体験、二酸化炭素消火器での放射体験、放水型スプリンクラー・泡フォームヘッド等の放射実験、ガス消火設備の放射室・厨房用ダクト消火設備の説明、等々、有意義な学びが出来た。



福利厚生事業



当組合の福利厚生事業の一環として、恒例の屋形船・懇親会が、北品川「船清」の屋形船でおこなわれた。午後6時出航、2時間半にわたり東京湾お台場の夜景を満喫した。江戸前の季節料理に舌鼓を打ち、カラオケで自慢の喉を披露。日頃の厳しい仕事から解放され、ほろ酔い機嫌で歓談、楽しいひと時を過ごした。



ボウリング大会

12月15日、「中野サンプラザボウル」において、忘年ボウリング大会を実施した。青年部の面々が積極的に参加、熟年も女性も配慮あるハンディ分配で奮闘し、気持ちの良い汗を流した。終了後、「炙谷(あぶりや)中野店」にて、表彰式を兼ねて、忘年会が持たれた。



裁判は人間くさい

■ よく「訴訟の強い依頼者はどういう人ですか」と聞かれます。心の中で「報酬を沢山くれる人です」という誘惑に抗いながら述べるのは、「最初の面談にお茶菓子を持って来る人です」というものです。

「なんだ、お金がお菓子に変わっただけではないか。この食いしん坊め。」と思われるかもしれませんが、私の実感として、最初の面談で手ぶらで来る人よりも、お茶菓子を持って来る人の方が、なぜか勝率が高いのです。

■ 訴訟とは、法律に従ったゲームではなく、これは許せないという人格と人格の戦いのようなところがあります。私が一番最初に手がけた事件は、政治家の後援会の会長が、政治家にお金を貸したら、こうした金は奥さんが受け取りに来るものであることを良いことに「奥さんが借りたものであって、奥さんは破産するから私は払う必要がない」と言い出したものでした。殆ど証拠がなく、300人いた債権者は殆どが泣き寝入りしたり、訴訟で負けてしまいました。それでも、依頼者が他の人と違ったのは「俺は金を返して欲しいのではない。俺と彼との男と男の友情を踏みにじられたのが悔しいんだ」というのです。事実、周辺事情を丹念に拾っていくと、やはりそのような依頼者の気持ちが滲み出て、同じことをしていても他の人とは説得力が違います。例えば、他の人はお金を貸すのは利息を取っていた。でも、依頼者は利息を取らなかった。それは金貸しではなく、友人だから貸していたからです。たとえ証拠が少なくとも、このような人物を裁判所として負かせるわけにはいかない状況が整ったのです。結果、多数の被害者のうち一人だけ回収ができました。

■ ならば、単にそのような信念さえあれば勝てるかといえば、それは違います。その信念が行動に出てこそ、一つ一つの行動が信念を感じさせるものとなり、裁判官の心を動かすのです。その依頼者は、周りに気を遣う人ですし、この人が言うのだから信じてみようと思うかけのものがありません。たかが、お茶菓子といえど、そんなものが欲しいというのではなく、「ありがとうね。」そういう気持ちがあり、相手の心を忖度することができる。そんな人を他の人が見捨てるものではないのだと、この頃になってやっと気付かされています。

■ 逆に、負ける確率がとても高いのは、人の悪口をいう人です。それは、結局は自分の価値観に縛られている訳で、世間が狭いからだとは私は解釈しています。確かに、相手が悪いかもしれませんが、のるかそるかという場面において、そのような相手にのし掛かるような形で人格を否定する人を、裁判官が気持ちよく思って勝訴させるかといえば、かえって波及効果が恐ろしくて躊躇してしまうものです。自己の正当性を裁判官の価値観に沿うように述べ、そして、仮にこの裁判で敗訴させたならば良心がとがめるでしょうと柔らかく裁判官を脅かしながら立証していく弁護士にかかれれば、こういった相手を本来よりも分が悪くさせることはよくあることです。

■ 法律というと、随分とから苦しい感じがするかもしれませんが、結構、人間くさいところがあるものですし、また、その人間くさいところを理解できるようになってはじめて法律家なのだなと思います。よく人徳と言いますが、結構、こういった細かいところに、その人の在り方がわかるものなのかもしれませんし、なかなか恐ろしいものだと感じています。

あれも、これも、みんなホーチキです。

ホーチキは自動火災報知システム、消火システム、トンネル防災システム、ネットワークシステム、出入管理システムなどの研究/開発・製造/販売・設計/コンサルティング/エンジニアリング・施工及びメンテナンスを行う会社です。



火災報知システム



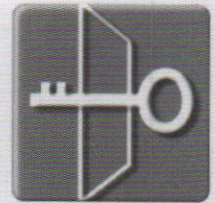
消火システム



トンネル防災システム



ネットワークシステム



出入管理システム

火災報知・消火・トンネル防災・ネットワーク・出入管理など各種システムの製造、販売、施工、保守

ホーチキ株式会社

本社 〒141-8660 東京都品川区上大崎2-10-43 TEL03(3444)4111 FAX03(3444)4118
http://www.hochiki.co.jp

- 消防設備の保守点検業務、消防設備工事における法律上の損害賠償をカバー！

「団体賠償責任補償制度」

(請負業者賠償責任保険＋生産物賠償責任保険)

- 事業活動にかかわる従業員のケガなどのリスクをカバー！

「ビジネス」ネクスト」new

(業務災害補償保険)



万が一に備えて
保険に入り
ましょう！

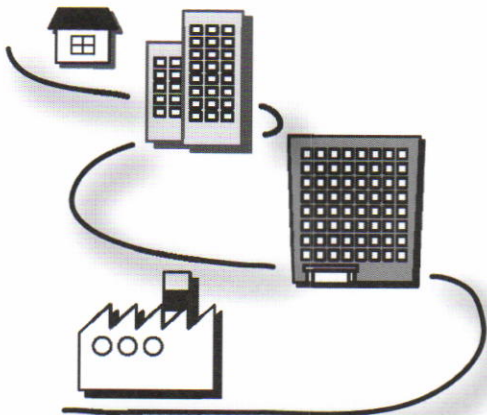
上記に関するお問い合わせは、組合事務局または下記の取扱代理店へご連絡ください。

【取扱代理店】 株式会社サンリビング
〒103-0023 東京都中央区日本橋本町 1-5-6
第10 中央ビル三洋化成工業(株)内
TEL03-3241-1761 FAX03-3241-1930

【引受保険会社】 三井住友海上火災保険株式会社
〒101-8011 東京都千代田区神田駿河台 3-11-1
TEL03-3259-3990 FAX03-3291-4684

NOHMI

安全の未来を〈形〉にする能美防災



都市生活と同じように、休むことなく稼働し続ける防災システム。私たちの生活を守るこれらのシステムは、24時間動き続けるいわば都市の心臓部。いつも安心で快適な毎日の生活のためのネットワーク・システムを実現します。

能美防災株式会社 [http:// www.nohmi.co.jp/](http://www.nohmi.co.jp/)

本社 / 〒102-8277 東京都千代田区九段南4-7-3
TEL.(03)3265-0211 FAX.(03)3263-4948

修理・調整・交換工事

排煙口、排煙窓、防火ダンパー

設備点検 特殊建築物調査

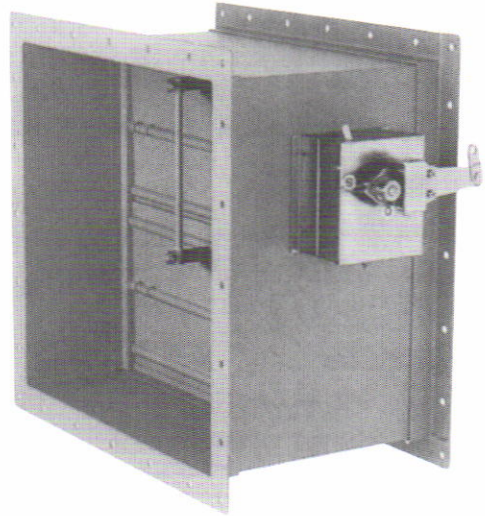
厨房ダクト・フード・グリスフィルター清掃



有限会社 ダンメン

東京都文京区後楽2-2-10

☎ 03-5689-3551



連結送水管 耐圧性能点検やります

平成19年7月現在で既に3000件を超える点検実績

業界随一の実績と品質を誇るプロサスだからこそ出来る

トータルサービス

事前改修に対応

あらかじめ不良のある事が予想される物件では、不良箇所等の事前改修を行ってから点検を実施することで、不慮の事故を未然に防止する事が出来ます。

有資格者による点検

経験豊富な消防設備士、消防設備点検資格者が実施する安心な点検です。

ホースの耐圧点検・交換も実施

弊社はメーカーとの直接取引による豊富な販売実績がありますので、非常にお得な価格でのご提供が可能となります。

A-2級水槽付ポンプ車を使用

実際の消防ポンプ車と同じA-2級水槽付消防ポンプを装備した検査測定車を使用し実施する誰もが納得できる点検です。

改修工事の見積・施工を速やかに実施

不良が見つかった場合でも、他業者を捜すことなくそのまま弊社にお頼みいただけます。

もしもの時も安心

点検中の過失による事故等に対しましては最高限度額2億円の損害賠償保険が適用されますので安心してご依頼ください。

基本サービス

耐圧性能試験 / 点検票の作成 / 不良時の原因調査

オプションサービス

事前調査 / 空気圧予備試験(乾式のみ) / 放水試験 / 不良箇所の改修・修理 / ホースの耐圧性能試験 / 点検現場写真

《トータルサービスの内容》

《お問い合わせはこちら》



株式会社 プロサス 担当：桜井・高木

〒162-0041 東京都新宿区早稲田鶴巻町519番地 早稲田松浦ビル

Tel 03-5272-9991

Fax 03-5272-9797

✉ setsubi@prosus.co.jp

🌐 http://www.prosus.co.jp



組 合 員 募 集 中

1. 名 称

日本防災設備協同組合

2. 趣 旨

当組合は中小企業協同組合法に基づき、国土交通省(旧建設省)の認可を得た事業協同組合です。組合員の相互扶助の精神に基づき、組合員のために必要な協同事業を行い、もって組合員の自主的な経済活動を促進し、かつ、その経済的地位の向上を図ることを目的としています。(組合定款第1条)

3. 地 区

現在加入組合員の地区は、東京都・神奈川県・埼玉県・千葉県・茨城県・栃木県・群馬県・山梨県・長野県・新潟県・静岡県・愛知県・岐阜県・岡山県・宮城県・大阪府及び北海道の区域です。(組合定款第3条)

4. 事 業

消防施設工事用及び点検設備用資材の共同購買を主体として、共同受注、研究・開発、教育・講習、情報提供、親睦・レクリエーション・福利厚生等の事業を行っている。(組合定款第7条)

5. 組合員加入資格(組合定款第8条)

消防施設工事又は点検設備を行う小規模の事業者であること。

6. 加入申請等

(1) 提出書類 加入申込書 会社経歴書 登記簿謄本

(2) 費用 出資金(1口、1万円)3口以上・加入手数料1万円

(3) 申請に必要な書類が提出されると、理事会で承認、不承認を決定し、申請者に通知します。なお、組合員になった場合は、賦課金(組合費)として毎月6,000円を3ヶ月ごとに納入して頂くことになります。

7. 募集期間

随時、事務局で受け付けています。申請書及び「組合員のしおり」を希望する方は、事務局へご連絡ください。

8. 沿 革

・所在地 東京都文京区本郷一丁目15番6号 MKビル2階

事務局 電話(03)3813-9650 FAX(03)3813-9460

E-mail nichiboukyoul@io.ocn.ne.jp URL <http://nichibou.main.jp/>

・設立年月日 昭和38年10月31日

・認可年月日 昭和39年1月22日、建設大臣

・組織(現在) 関東を中心とした17都道府県・組合員130社 事務局 専従職員5人

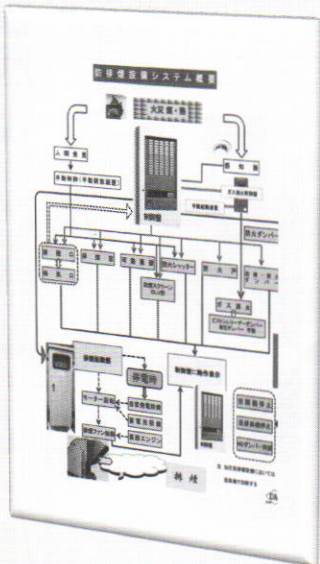
待望の発刊!

好評発売中!!

防排煙設備 実務要領 I

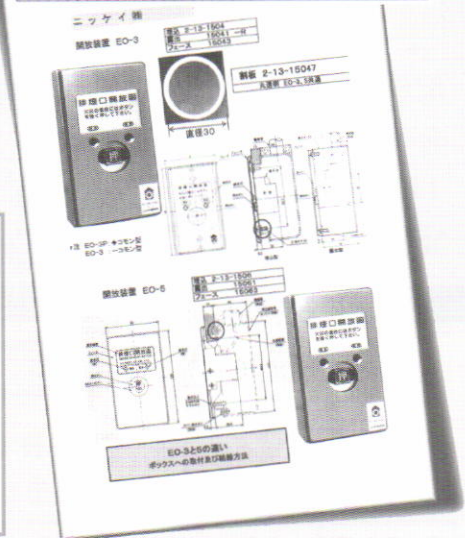
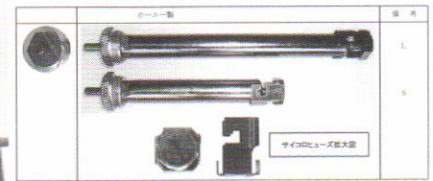
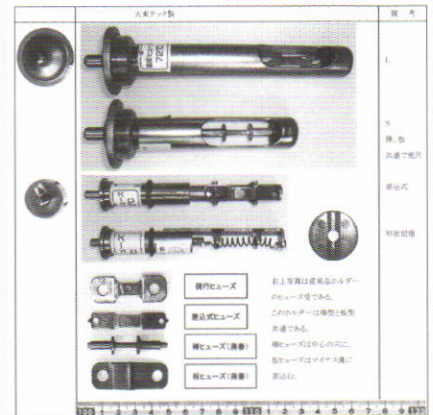
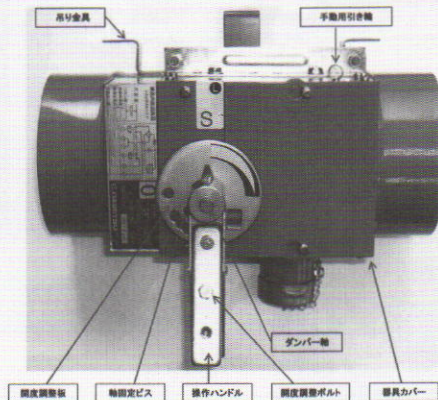
現場に即した観点から構成した、現場の即戦力となる実務書完成

今までにない わかりやすさで 豊富なカラー写真 図解 表を用い
防災設備の中でも 建築基準法に基づく 防排煙設備の全体像を明かし
シリーズ I では 特に防火ダンパー・排煙関連の詳細を解説しています



3-2 防煙・防火ダンパーの構造、作動特性
 防煙・防火ダンパー(SFD)の基本構造は、作動器以外防火ダンパー(FD)と同じである。
 大きく異なることは、連動制御盤から遠隔制御が行え、作動表示され常時監視ができることである。
 SFD作動器の定格電圧は、現在においてDC24Vが主流である。
 過去にはDC48V仕様もあったが、現行の自動火災報知設備がDC24Vであり、連動制御盤も同一仕様であることから統一されている。
 作動時の電気定格及び作動トルク並びに復帰時の電気定格及び復帰トルクについては、製造者により違いがある。
 ダンパーが一系統で複数台設置されている場合、同時作動或いは順送りなどで配線されるのでSFD作動器の電気的特性を把握する必要がある。

(1) ソレノイド作動、手動復帰式
 丸型150φでカチオン電着塗装を施したモデル。
 この器具の軸が10φである。小径のダンパーであるためこの径になっているが、一般的には13φが用いられ12.7φのものもある。作動器交換時には注意である。
 ソレノイド作動の場合は、作動信号を受けてほぼ瞬時に作動する。この面では防煙・防火ダンパーの特性上好ましい型式である。



これまで理論等に重点をおいた解説書はでていますが、本書のような実際の部材に基づくもの或いは設置現場からの観点での解説書は、類を見ません。

部材によっては、細部まで説明し、又温度ヒューズや手動開放装置並びに保護板については可能な限り網羅して、資料として活用できるよう配慮しています。

編集：日本防災設備協同組合 防排煙設備検討委員会

発行：日本防災設備協同組合

TEL 03-3813-9650 <http://nichibou.main.jp>

定価：4,000円+税

取扱い

防排煙設備が益々重要!

防排煙設備 実務要領Ⅱ 完成

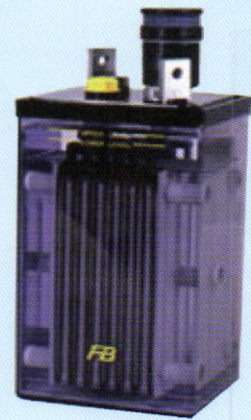
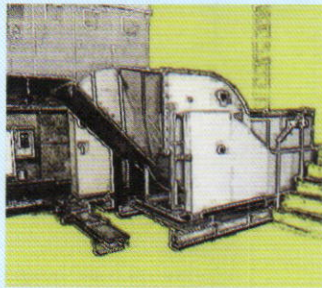
“現場で役立つ機械排煙設備の仕組み”

実務要領Ⅰでは、ダンパー、排煙口・窓、垂れ壁などを挙げました。

本書では、排煙設備の中でも、排煙機や送風機を用いた設備について、構成する機構・部材を写真入りで具体的に解説しています。

この一冊で、ファン、モーター、エンジン、蓄電池などを理解できます。

消防設備の業務に携わる方でも、建築設備としての防排煙設備を習得し、仕事につなげていくことが大切です。



＜本書内容の紹介＞

- 機械排煙について、法令に定める事項
- 機械排煙方式の制御・監視、排煙起動盤について
- 排煙ファンについて
- 電動機、エンジン、動力伝達装置
- 予備電源、蓄電池、充電装置、排煙設備の保守点検

編集：日本防災設備協同組合 防排煙設備検討委員会

発行：日本防災設備協同組合

TEL 03-3813-9650 <http://nichibou.main.jp/>

定価：4,000円(消費税別途)

取扱い

●下記申込書をコピーして、必要項を記入の上、ファクスでお申込みください。

実務要領Ⅱ購入申込書

ご注文数 冊

日本防災設備協同組合 行 FAX 03-3813-9460

〒113-0033 東京都文京区本郷1-15-6

会社名				申込先とご送付先が異なる場合は下記に記入
ご注文者				
ご連絡先	☎	FAX	☎	FAX
ご住所	〒 <input type="text"/> - <input type="text"/>	〒 <input type="text"/> - <input type="text"/>		
申込日付	平成	年	月	日

防排煙設備

実務要領Ⅰ

好評発売中!!